

2025年12月14日

(朝10:30-11:30)

## 聖日礼拝

司会 城尾マコト

前奏	全員黙祷 「新聖歌 23番」	
招詞	ヨハネ第1手紙 4章 18節(新380頁)	司会者
頌栄	「新聖歌 60番」	
主の祈り		全員
使徒信条		全員
交説文	新改訳 43番 詩篇 136篇 913頁	司会者・全員
聖書	出エジプト 20章 18~20節(旧103頁)	司会者
讃美歌	♪新聖歌 206 飼い主わが主よ	
祈祷	司会者による祈り	
	♪子供達の祝福の為の賛美 484番	
讃美歌	♪新聖歌 209 慈しみ深き	
メッセージ	「あなたを守るためにきました」	城尾淳一
讃美歌	♪新聖歌 76 もろびとこぞりて 証とお知らせの時間	
献金	新聖歌 55番	
頌栄	新聖歌 63番	
祝祷		城尾マコト牧師
後奏	全員黙祷 新聖歌 59番	



Youtube



Facebook



HomePage

## 出エジプト記 20章「あなたを守るためにきました」

### 出エジプト記 20章 18~20節

この箇所は、神様の圧倒的な臨在(雷・稻妻・ラッパの音・山の煙)の中で、民が恐怖に耐えきれず、モーセに仲介を求めて遠く離れた場面です。そこでモーセは民に「恐れるのではなく、畏れなさい」と語りかけます。

### 民の恐怖(18節)

雷・稻妻・ラッパ・煙は、古代近東における神様が現れるときの定番の表現です。神様は、人間が理解できるように、この「定番の表現」を用いてご自身を現されました。民は「遠く離れて立った」とありますが、これは「恐怖で逃げた」のではなく、「恐怖を感じながらも、ギリギリのところで踏みとどまつ」のです。何万人もの大群衆が、パニックにならず秩序を保つ。これは出エジプト記18章・19章での組織的・霊的準備の成果でした。神様は群衆がどう反応するかをご存じで、モーセに備えをさせていたのです。

### 仲介者への懇願(19節)

恐怖の限界に達した民は、モーセに仲介を求めました。今まで奇跡は見てきましたが、それはエジプト人や敵に向けられたものでした。しかし今回、神様の圧倒的な臨在が自分たちに直接向けられたのです。これは全く違う恐怖でした。わかりやすく言えば、鉄砲を持つて人が味方だと気持ちは大きくなります。鉄砲を向けられるようなものです。彼らの恐怖は深い神学的反省からではなく、ただ物理的な恐怖でした。しかし、この体験には深い意味がありました。神様は、ご自身の栄光を現すことで、「神様を畏れる」ことを知って欲しかったのです。

### 制御できる神への渴望

イスラエルの民は400年エジプトに住み、エジプトの偶像に慣れ親しんでいました。それらは目に見え、制御できる、人間のスケールに収まる神々でした。しかし、本物の神様は制御できません。古今東西、人間は「制御できる神」を求めてきました。戦前の日本でも、国家神道のもと天皇を現人神として祀り上げ、権力者が利用しました。ホーリネス教会は「唯一の神は一人だけだ」と主張し、特高警察に捕らえられ、拷問を受けました。自分に都合の良い「制御できる神」を造り上げることは、神様への冒瀆であると同時に、人間を傷つける罪深い行為です。

### あなたを守るためにきました(20節)

神様は一見危険に見える形で現れます。本質は愛と優しさで満ちています。神様は罪びとを滅ぼすためではなく、罪びとにならないよう守るために現れてくださったのです。神様が怖いのは、私たちを突き放すためではありません。私たちが罪によって傷つかないよう、愛をもって守るためなのです。イエス様の十字架による「完全な愛」は、刑罰への恐怖を打ち消します。どうぞ今日、この『恐ろしくも優しい、あなたを守る神様』の愛をしっかりと受け取つて帰ってください。神様はあなたを愛してください。

城尾淳一